2008年度第17回JMYS36/600クラス全日本選手権優勝記

永井茂樹　J-750

今回は変化の激しい風で先の読めない展開が続き、あるベテランも「1レース終えるだけで普段の数レース分以上疲れる」とおっしゃるほどでした。
私の場合も、上手く風に乗ってトップグループを走っていても、あっという間に後続集団に追い越され天国から地獄、どん尻になってしまったレグもありました。
一方、全くデザインコンセプトの異なる多種多様な艇があれほど僅差で競り合うとは想像もしていませんでした。
この所、良い艇が増えた事もあると思いますが、セッティングが煮詰まったり、改良が進んだりで、皆さんのレベル差は殆どありません。
ワンデザインにひけを取らず、7～8艇が横並びで上マーク回航を行うのは壮観でした。
私は相も変わらずミスが多く、序盤、接触やマークタッチで自滅。順位を落とし後がなくなったため、その後は集団の最後で回航してでもケースだけは起こさぬようにと避けまくりました。
あとは文字通り神風だより、運を天に任せてのセーリングでしたが、僅差の中、ほんの少しだけ運が良く優勝させて頂きました。
役員関係者の皆様、今回も素晴らしい環境を提供して頂いた静岡支部・丹野池の皆さん、どうもありがとうございました。